

別紙②

運営推進会議開催報告書

会議名 大野和光園なかよしデイサービス運営推進会議
施設名 大野和光園なかよしデイサービス
サービスの種類 認知症対応型通所介護
会議開催場所 大野和光園 会議室
開催日時 令和2年1月15日(水) 午前 10:30～11:30

<運営推進会議出席者>

構成区分	氏名	備考
利用者の家族	宮本 初代 様	
利用者の家族		
地域住民の代表者(上篠座二区区长)	清水 勇治 様	
地域住民の代表者(上篠座一区区长)	石田 秀徳 様	
大野市健康長寿課	清水 幸恵 様	
さくら在宅介護支援事業所(介護支援専門員)	三浦 朋子 様	

<施設職員出席者>

職種	氏名	備考
理事長	砂子 三郎	
常務理事	山村 正人	
施設長(管理者)	阿部 静枝	
相談員兼介護員(副主任)(書記)	堀 亜住	

<議事録>

- 1 大野和光園 理事長挨拶
- 2 会議出席者の紹介
 - ・運営推進会議委員
 - ・大野和光園職員出席者
- 3 利用者実績と今後の予測
- 4 活動状況報告について
 - ・令和元年度上期活動状況
 - ・令和元年度下期活動状況
 - ・認知症のレベルと判断基準について

- ・空き状況
- ・居宅介護支援事業所別利用登録者
- ・延べ人数平均介護度
- ・利用者の推移
- ・収益と利用者数の推移
- ・人件費比率の推移
- ・介護、物損、傷病状況報告
- ・外出、行事等活動報告
- ・職員研修等受講報告
- ・ご家族の皆様への情報発信

5 質疑応答・意見交換

Q 事故報告件数がが 2 件とうことだが、つまづきや転倒といった怪我になるような事故はなかったのか。

A 利用者様が歩くときやトイレに行かれる時には付き添うようにしているのでこの期間中にそのような怪我につながるような事故はありませんでした。ただ、見守りしきれないときに転んだり、ソファからずり落ちたりすることはありました。

◎和光園にはリスクマネジメント委員会が設けてあり、介護事故が起こったときにはその原因を検証し、職員に研修を行うことで再発防止につなげている。又、今後はリスクマネージャーも必須になってくると考えられるため研修に参加している。

Q なかよしデイサービスは定員が 12 名ということで 5～6 割の利用率となっているが一般のデイサービスではどうなっているのか。

A 一般のデイサービスは定員が 40 名です。多い時には 39 名、少ない時には 27 名程度の利用となっています。なかよしデイサービスは認知症の方が対象で少人数でケアするという目的があります。一般のデイサービスと比べると職員の配置人数も手厚くなっています。

Q 認知症の方は多数いると思うのだが、利用につながっていないのはなぜか。

◎一般のデイと比べるとなかよしデイは単価が高くなっているため、負担が増えたり、利用できる回数が少なくなってしまうこともありどうしても利用人数が少なくなってしまうという現状がある。一般のデイの中にも認知症の方はおり、なかよしデイスタッフもローテーションで入っているため上手くケアできている。

◎認知症の第一人者が認知症になり、講演会をやっているドキュメント番組をみた。家族の心の在り方を考えさせられた。

◎ご家族の方と接していると、自分の親が認知症になっても最初はそれを受け入れられず、葛藤があつて辛い思いをされているなど思うことが多々あります。もう少し、認知症について理解があれば自分も利用者も変わるのにと思いますね。

◎私はおばあちゃんの誕生日が来るたびに「来年の誕生日までがんばろうの」と声を掛けています。そうするとやっぱり顔つきが違う。言葉が発せられなくても人の話は理解できているのでゆっくりと話しかけるようにしています。介護をして 10 年になりますが、初めの歩ける頃が一番大変でした。「動かないでここにいて」といってもベッドがからずり落ちてしまい、隣の家に助けを求めるといふ事

が多々ありました。

Q 和光園は研修にたくさん行かれていると思うのですが、その分の空きはどのようにフォローしているのか。

A 職員の加配、他部署との兼務を行っているため研修や病欠、急な休み、育休等にも対応できている。園としてはできる限り研修に出して、介護のプロを作っていこうと思っている。

6 今後の予定及び次回会議について

次回:令和2年7月15日(水) 10:30～ 開催予定